

「板橋区第二次文化芸術振興基本計画」
平成24年度実施状況報告書（概要）

1 平成24年度の進捗状況

板橋区第二次文化芸術振興基本計画では、計画の推進の充実を図るため、毎年度事業ごとの実施状況を踏まえ、進捗状況の自己評価とともに、平成27年度の計画最終年度に向けた進行管理を行っています。

平成24年度の施策の柱ごとの実施状況は以下のとおりです。

施策の柱	合計	計画を越えて進捗	計画どおり進捗	概ね計画どおり進捗	計画の見直し・繰り延べ	事業終了
文化芸術の風おこし	22(3)	0	20(2)	1	1(1)	0
歴史文化の記憶つむぎ	11(1)	2	7(1)	2	0	0
文化芸術の人そだて	13(4)	0(1)	10(3)	2	1	0
文化芸術の土づくり	11(2)	2	8(2)	0	1	0
合計	57(10)	4(1)	45(8)	5	3(1)	0
	100.0%	7.0%	78.9%	8.8%	5.3%	0.0%

※()内は再掲事業

(1) 計画を超えて進捗している事業（4事業）

No29 散策ツアー（くらしと観光課）

No32 埋蔵文化財教材使用事業（生涯学習課）

No47 板橋区文化・国際交流財団ホームページの構築

（文化・国際交流課、（公財）板橋区文化・国際交流財団）

No49 いたばしまちあるきマップ（くらしと観光課）

(2) 計画の見直し・繰り延べの事業（3事業）

No 4 「文化芸術月間」の事業展開

（文化・国際交流課、（公財）板橋区文化・国際交流財団）

No45 日本画教育法講座（美術館）

No54 区内大学との文化芸術交流の推進（文化・国際交流課）

2 計画の修正について

板橋区第二次文化芸術振興基本計画は、平成23年度から平成27年度までを計画期間と定めており、平成25年度はその中間期にあたります。平成24年度の進捗状況調査を行う際に、本計画のPDCAサイクルの実効性をより高めるため、計画を前倒し・延伸した事業等についての年次計画の変更等についても調査を行いました。また、平成25年1月に策定された「いたばし未来創造プラン」との整合や、今日的な課題に取り組む新規事業についても確認を行い、これらの結果を基に、板橋区第二次文化芸術振興基本計画の追加・修正を行いました。

調査の結果、以下のとおり計画を修正します。

(1) 新規事業

平成25年度当初から始まる新規事業はありませんが、今後、南館の改築に伴い、設置が予定されているギャラリーモールを利用した、美術館・郷土資料館・植村冒険館収蔵品等の区内資源の有効活用による魅力の発信や、いたばし未来創造プランの成長戦略である美術館やいたばしポローニャ子ども絵本館などの活動を通じた「アートによるまちおこし」、交流都市の観光資源とのコラボレーションを取り入れた「戦略的な都市交流の推進」、人材や知的資源を活かした「大学などとの戦略的連携」に向けた事業の展開を図ります。

また、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定したことにより、海外からのお客様が増加することが予測されるため、板橋区の伝統芸能・伝統工芸等をはじめとした歴史・文化・芸術・産業の魅力を区の内外に発信し、板橋区の魅力をさらに高めるとともに、公益財団の文化事業の活性化やスポーツを文化の領域として幅広く捉え直し戦略的に事業を展開することなど、多くの方が板橋区を訪れたいとする施策の推進に取り組んでいく予定です。

(2) 計画の前倒しとなった事業（1事業）

No47 板橋区文化・国際交流財団ホームページの構築

（文化・国際交流課、(公財)板橋区文化・国際交流財団)

(3) 計画を延伸した事業（2事業）

No 4 「文化芸術月間」の事業展開

（文化・国際交流課、(公財)板橋区文化・国際交流財団)

No45 日本画教育法講座（美術館）

(4) 事業終了となった事業（1事業）

No23 いたばし薪能（(公財)板橋区文化・国際交流財団)

(5) その他の変更（5事業）

①事業名の変更

No19 平和絵画・原爆展

No43 板橋新進音楽家フレッシュコンサート

No51 生涯学習団体・サークル名簿

②事業内容の変更

No12 リラックスコンサート

No26 いたばしの郷土芸能

3 次期計画の策定に向けて

平成23年3月に策定した現在の板橋区第二次文化芸術振興基本計画は、平成27年度末をもって5年間の計画期間が終了するため、平成28年度を初年度とする新たな文化芸術振興基本計画の策定に向け、準備を進めていきます。

他計画期間との関連図

